

2019 年度（令和元年度）前期終了時点電子工学科 1 年生向けアンケート結果

本アンケート結果は 2019 年前期・電子工学一般において 1 年生の皆さんに回答していただいたアンケートを集計したものです。アンケートへのご協力ありがとうございました。

1. あなたが受験する大学を選択した際、参考にした情報源は何ですか？（複数選択可）

図 1 に問 1 の回答分布を示します。

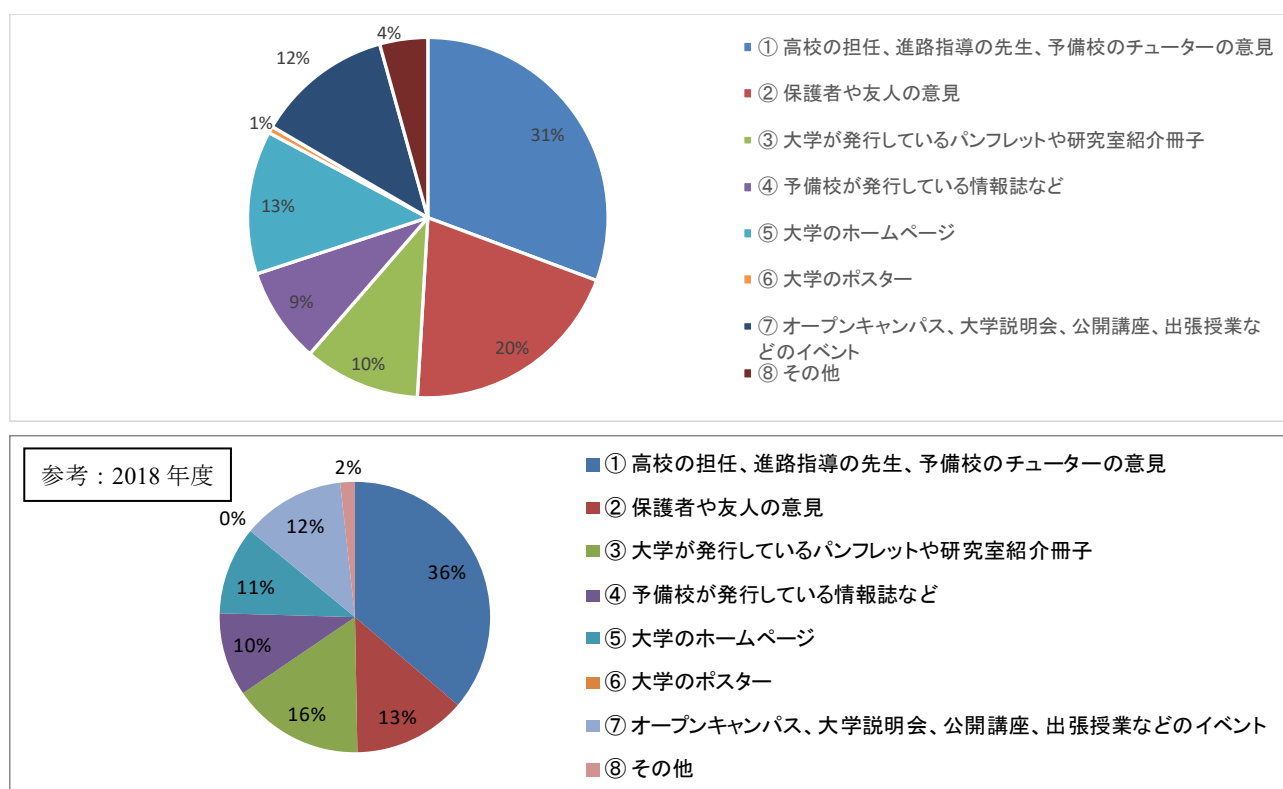


図 1. 問 1 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学を選ぶ際に、参考にした情報源を調べるためのものです。“①高校の担任、進路指導の先生、予備校のチューターの意見”が最も多く、次いで“②保護者や友人の意見、”⑤大学のホームページ“、そして”⑦オープンキャンパス、大学説明会、公開講座、出張授業などのイベント“でした。

本年度も①の先生方の意見の割合が最も多かったです。昨年度と比べ②が13%から20%に増加、一方で③が16%から10%へ減少しました。

2. あなたが受験する大学を決める上で、最も重視した項目は何ですか？ 一つだけ選択してください。

図2に問2の回答分布を示します。

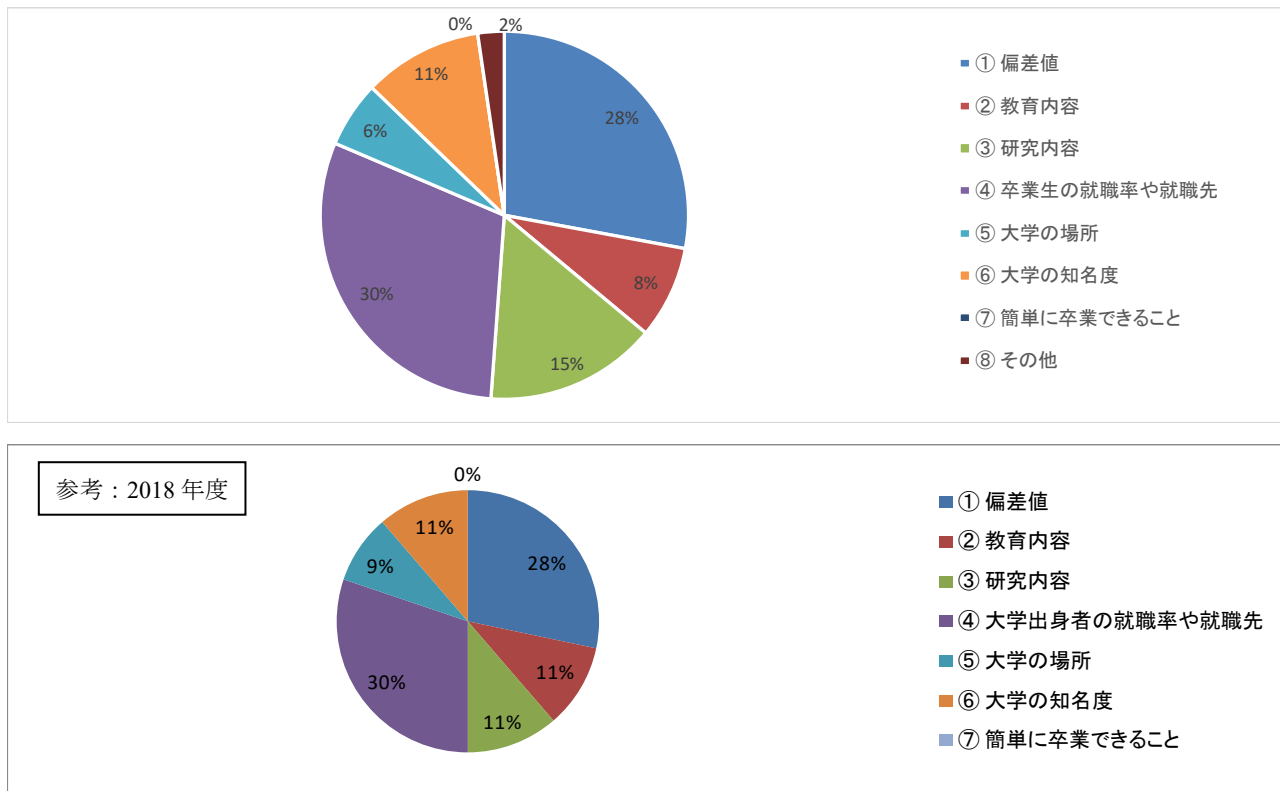
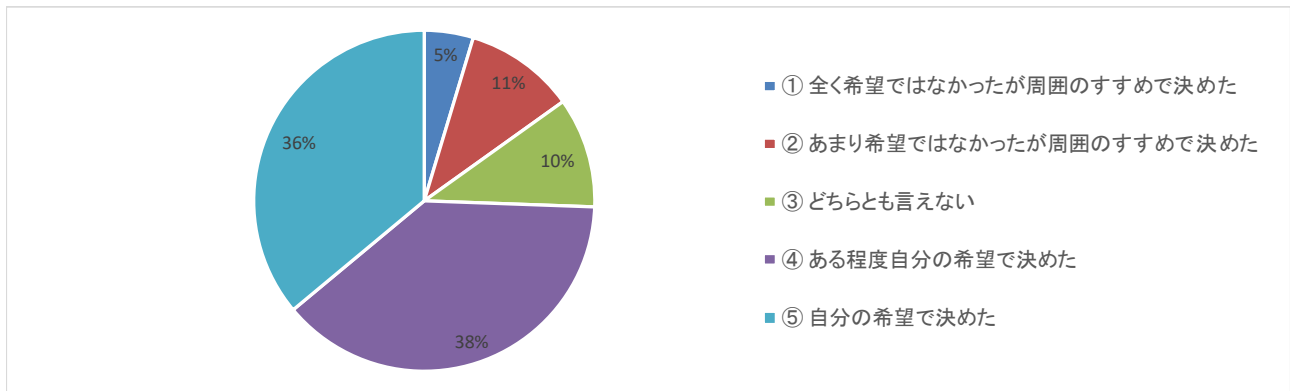


図2. 問2の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学受験の上で重視した点を調べるためのものです。“①偏差値”が最も多く、僅差で“④大学出身者の就職率や就職先”でした。昨年度と同一の値でした。③研究内容について、昨年度の11%から本年度は15%に増加していました。芝浦工業大学は研究にも力を入れています。各専任教員は自分の研究室を持っています。どんな先端研究を行っているのか、電子工学科のホームページで調べたり、直接尋ねてみてはいかがでしょうか？

3. 芝浦工業大学への進学は自分で決めましたか？ 一つだけ選択してください。

図3に問3の回答分布を示します。



※本項目は2018年度にはありません。

図3. 問3の回答分布の円グラフ

この質問は不本意入学者の割合を調べるためのものです。不本意での入学割合は①から③の合計で、26%でした。本学科で専門知識を身につけ、社会で活躍している先輩が多くいます。気持ちを切り替え、将来へ向かって歩むことを希望します。

なお、自分の希望で決めた割合は74%でした。皆さんの大半が自分の意思で本学・本学科を選んだことは、私たちも大変うれしく思います。

4. 芝浦工業大学の中で電子工学科を選んだ理由は何ですか？ 一つだけ選択してください。

図4に問4の回答分布を示します。

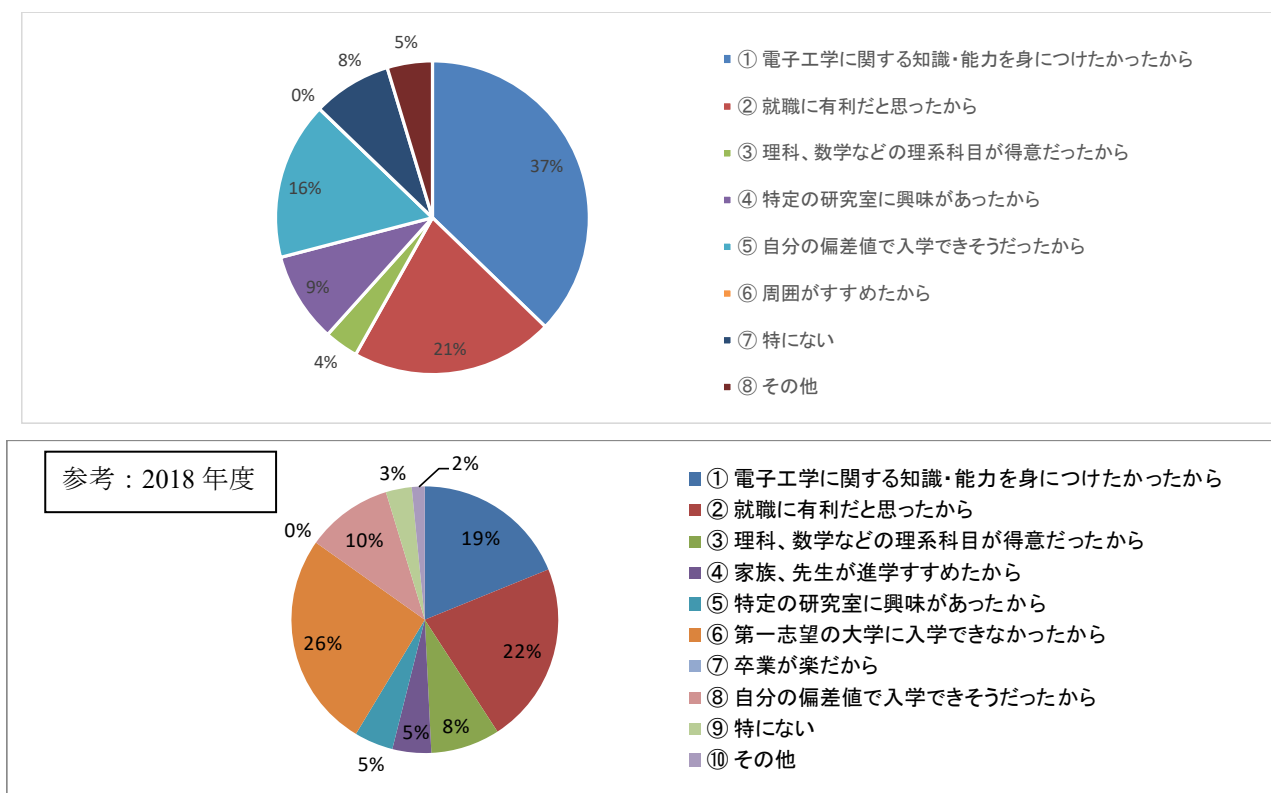


図4. 問4の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが芝浦工業大学電子工学科に進学を選んだ理由を調べるためのものです。

[積極的な理由]

“①電子工学に関する知識・能力を身につけたかったから”、“②就職に有利だと思ったから”、“③理科、数学などの理系科目が得意だったから”の合計：62%。昨年度の49%より増加。“④特定の研究室に興味があった”が9%。項目が若干変わりましたが、昨年度より、積極的な理由が増加しました。

[消極的な理由]

“⑤自分の偏差値で入学できそうだったから”、“⑥周囲がすすめたから”、“⑦特にない”の合計：24%。昨年度の消極的な理由の39%より減少しました。今後は、自分の実力を高めることが重要です。気持ちを切り替えて、前に進みましょう。

5. あなたが大学の勉強で最も修得していきたいと考えていることは何ですか？ 一つだけ選択してください。

図5に問5の回答分布を示します。

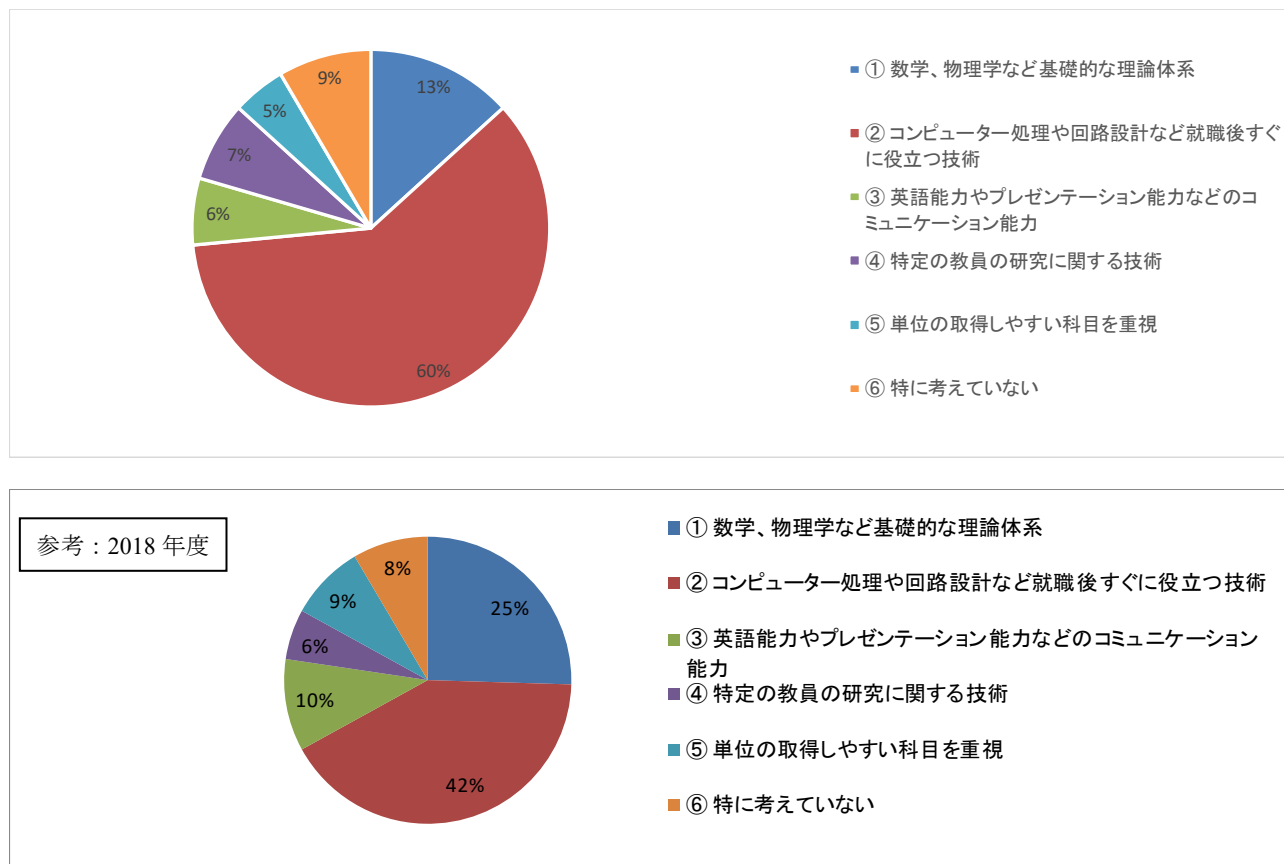


図5. 問5の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学で何を学ぼうとしているのかを調べるためのものです。最も多いのが“②コンピューター処理や回路設計など就職後すぐに役立つ技術”、次いで、①数学、物理学など基礎的な理論体系”でした。①と②の次になってしまうと思いますが、“③英語能力やプレゼンテーション能力などのコミュニケーション能力”も重要です。本学ではスーパーグローバル大学創成支援事業に採択され、通常の留学に加え、海外での課題解決型授業（グローバルPBL）の短期留学の機会が多くなっています。是非利用して下さい。

6. 本学科では3年次の電子工学ゼミナールという科目の履修の際に、事実上の研究室配属が行われますが、その事を知っていましたか？

図6に問6の回答分布を示します。

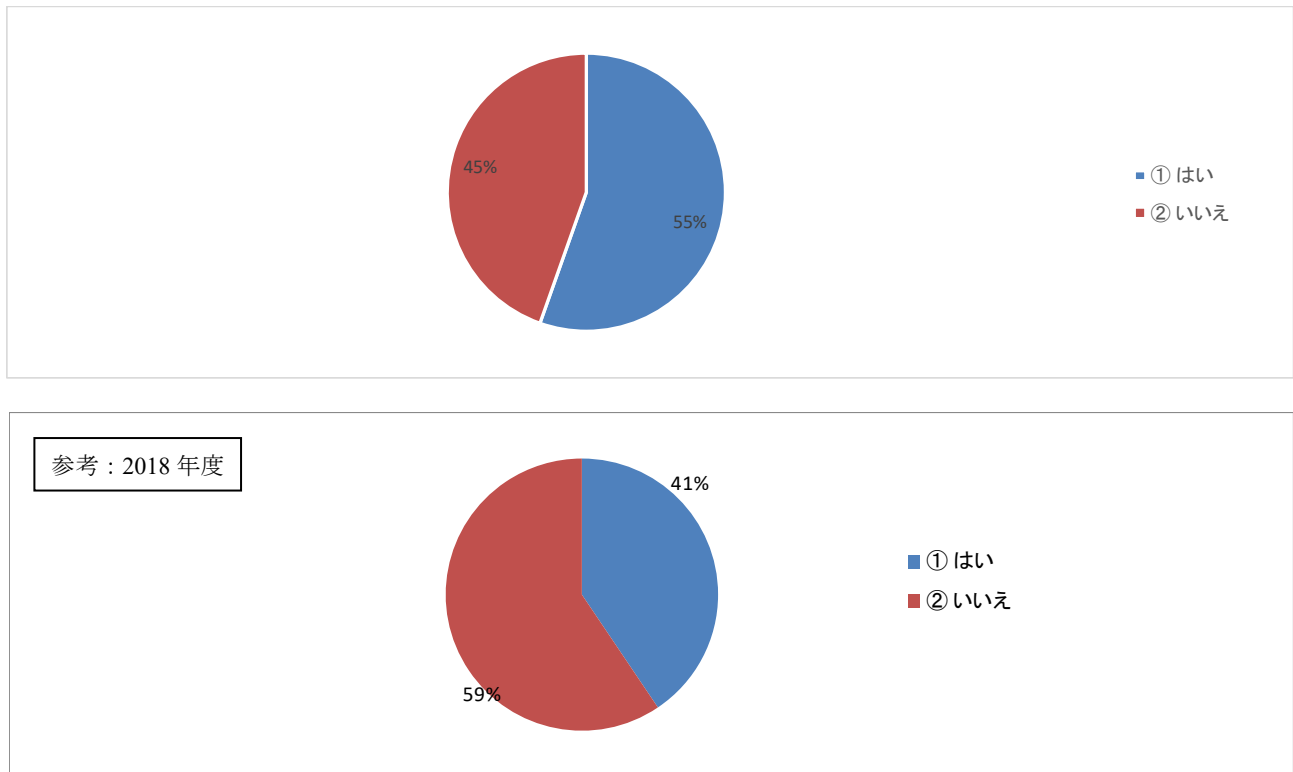


図6. 問6の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが卒業研究を行う研究室配属についての意識を調べるためのものです。55%の方がご存じでした。ご存じなかった方はガイダンス資料を見直し、今後の予定をしっかりと把握しましょう。卒業研究は学部での学びの集大成として4年次に行うものです。3年後期「電子工学ゼミナール」では、事前に卒業研究内容に触れて準備をすることで、より充実した卒業研究にしたいという意図があります。卒業研究内容によって就職先が制限されることはありませんので、できるだけ興味あるテーマで行うことが望ましいです。普段から自分の興味を意識し、3年前期終了までに方向性を決めておきましょう。

7. 研究室を決める上で、重視しようと考えていることはありますか？ 一つだけ選択してください。

図7に問7の回答分布を示します。

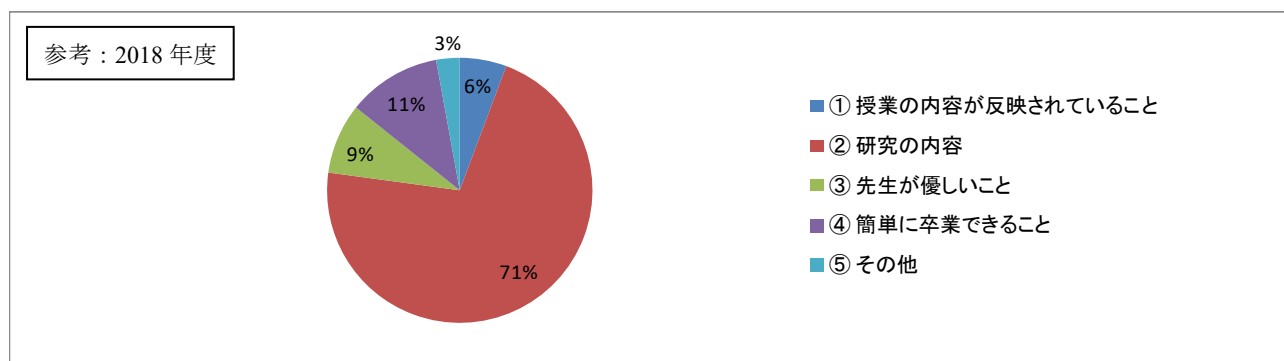
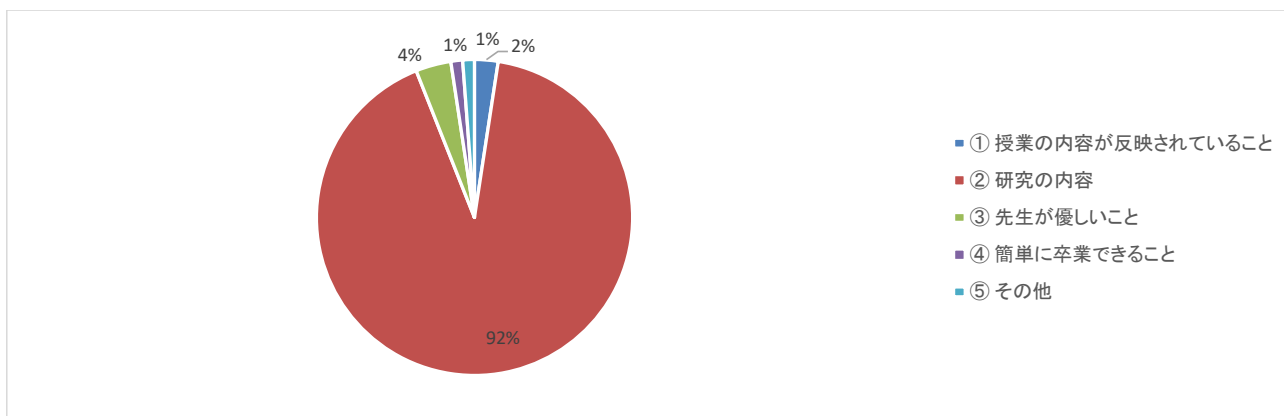


図7. 問7の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが卒業研究を行う研究室について何を重視して選ぶつもりかを調べるためのものです。92%の方が“②研究室の研究内容”を選択しており、正しい意識を持っています。卒業研究は学部での学びの集大成として4年次に行うものです。また、卒業研究内容によって就職先が制限されることはありませんので、普段から幅広く興味を持っていると選択肢が広がります。

8. 本学には大学院があり、修士課程や博士課程を修了することで修士や博士の学位を取ることができます。そのことを知っていましたか？

図8に問8の回答分布を示します。

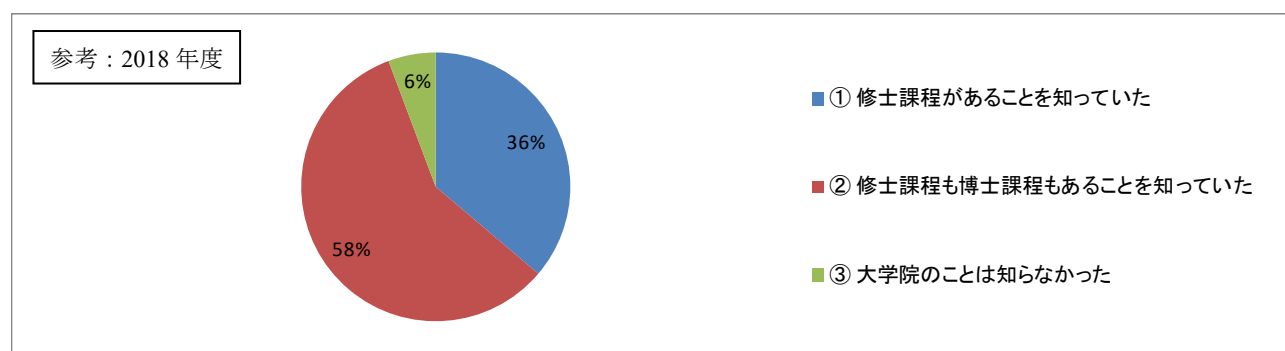
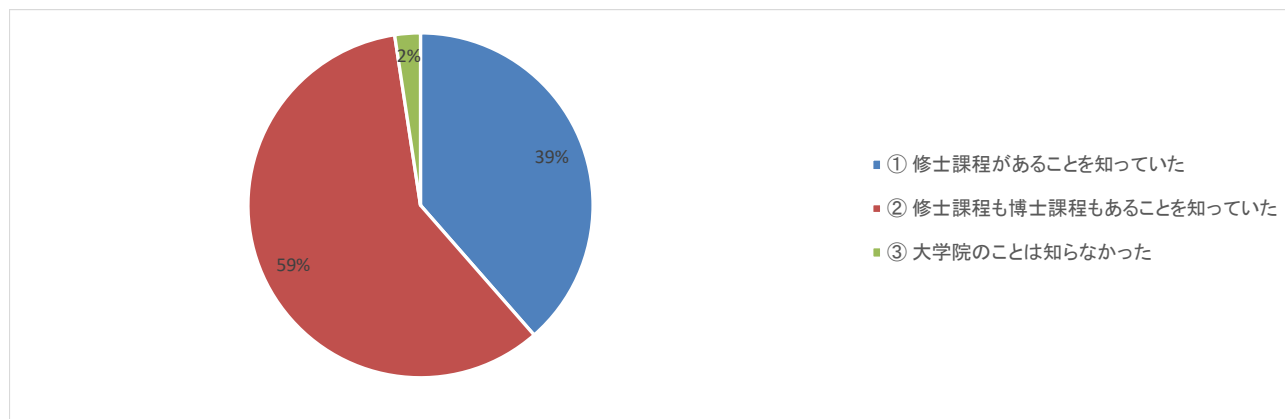


図8. 問8の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学院の存在をどの程度知っているか、また進学についての意識を調べるためのものです。本年度は98%の方が大学院の存在を知っており、また、修士課程と博士課程の両方についても59%の方が知っていました。大学院ではより高度な研究を行い、より高度な知識を学びます。その結果、大学院生の就職率は学部生より高くなっています。大学院進学を学部卒業後の選択肢の一つとして考えてみて下さい。

9. あなたは学部（1～4年生）卒業後の進路について、現在どのように考えていますか？
一つだけ選択して下さい。

図9に問9の回答分布を示します。

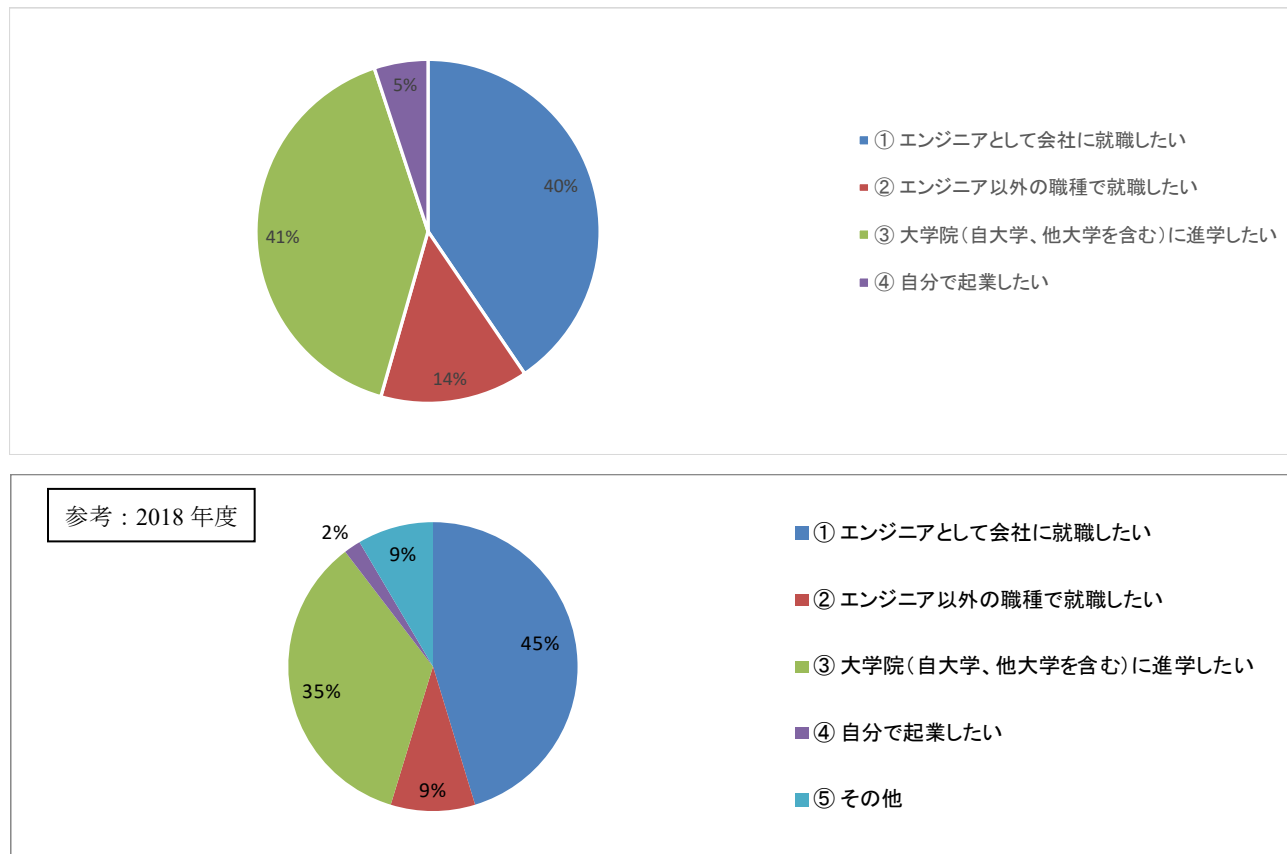


図9. 問9の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが大学卒業後の進路についての意識を調べるためのものです。最も多いのが“①エンジニアとして会社に就職したい”でした。①は昨年度の45%から40%へ減少しました。①、“②エンジニア以外の職種で就職したい”、“④自分で起業したい”を含めると59%の方が就職希望となっています。一方、“③大学院（自大学、他大学を含む）に進学したい”が昨年度の35%から41%と増加しました。我々も大変うれしく思います。大学院では専門的な知識だけでなく、上級のコミュニケーション能力を身につけることができます。是非、大学院進学も視野に入れてもらえればと思います。就職でも進学でも、みなさんの希望が叶うように、今のうちからしっかり学んでいきましょう。

10. あなたが職業を決める上で、最も重要であると考えているものは何ですか？ 一つだけ選択してください。

図 10 に問 10 の回答分布を示します。

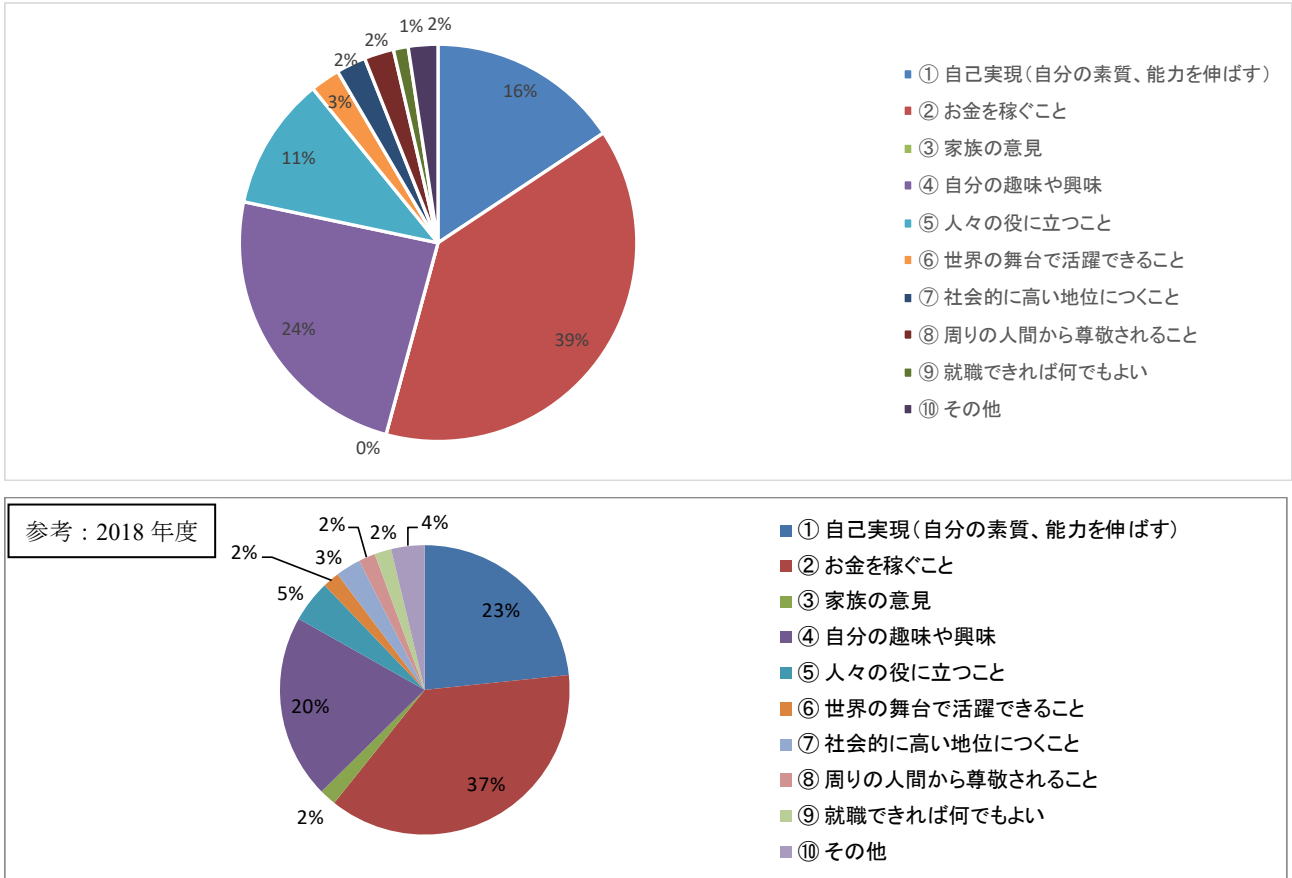


図 10. 問 10 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが職業を選ぶ際に何を重視するのかを調べるためのものです。“②お金を稼ぐこと”が39%と最も多く、次いで④自分の趣味や興味”の24%、“①自己実現”の16%でした。昨年度と比べると、④が①を上回ったことが大きな違いです。自分の趣味や興味を生かせるような仕事に就けるよう、普段から自分の能力を高めておきましょう。

11. 就職時に必要なもの、または大事なものは何だと思いますか？ 一つだけ選択して下さい。

図 11 に問 11 の回答分布を示します。

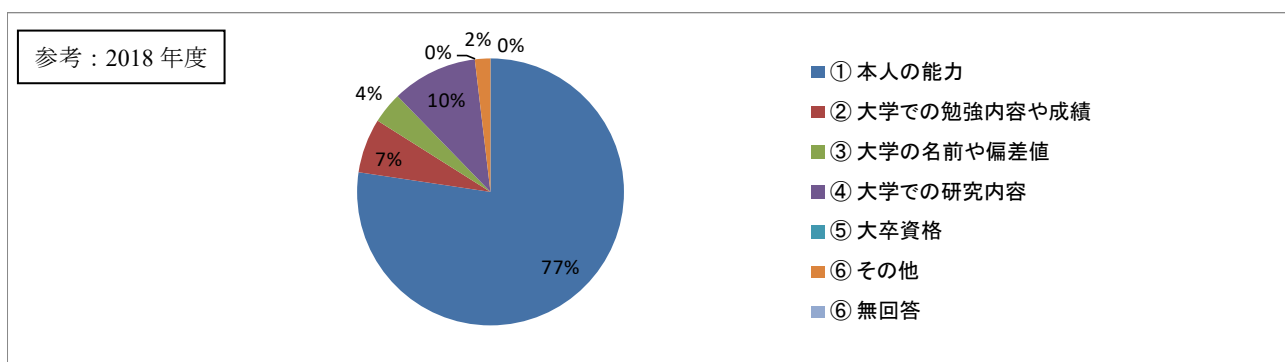
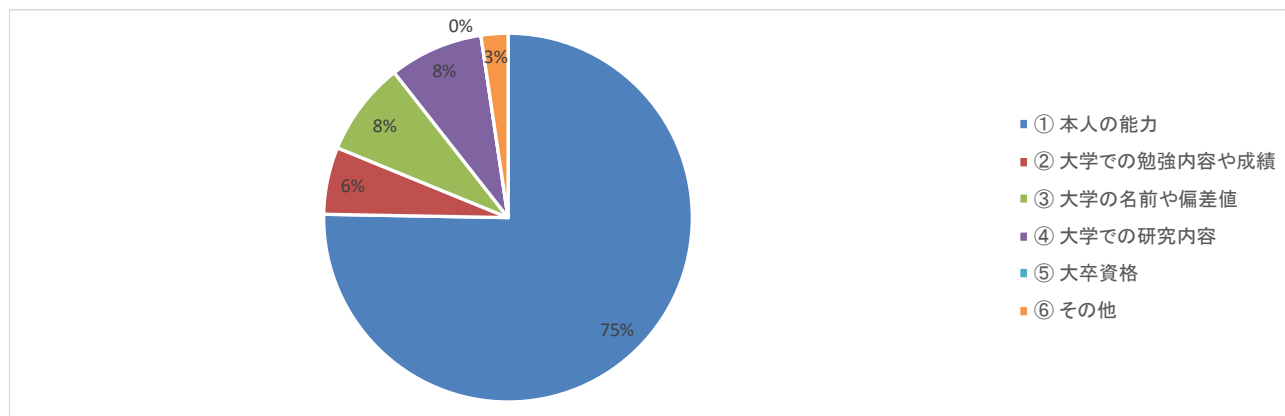


図 11. 問 11 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職に何が必要とされていると考えているのかを調べるためのものです。回答の 75%が“①本人の能力”でした。社会で必要とされるのは、大学の名前・偏差値よりも、本人の能力です。ほとんどの方が正しく把握されています。知識だけでなく、生きていくための総合的な力である“人間力”も能力の一つです。大学の学びだけでなく、他の人との出会いや活動を通し、人間力を高めることも期待しています。

12. 就職活動における選考基準についてお尋ねします。選考では、自主性、協調性、論理的思考力、及びコミュニケーション能力が重視されていることを知っていますか？
一つだけ選択して下さい。

図 12 に問 12 の回答分布を示します。

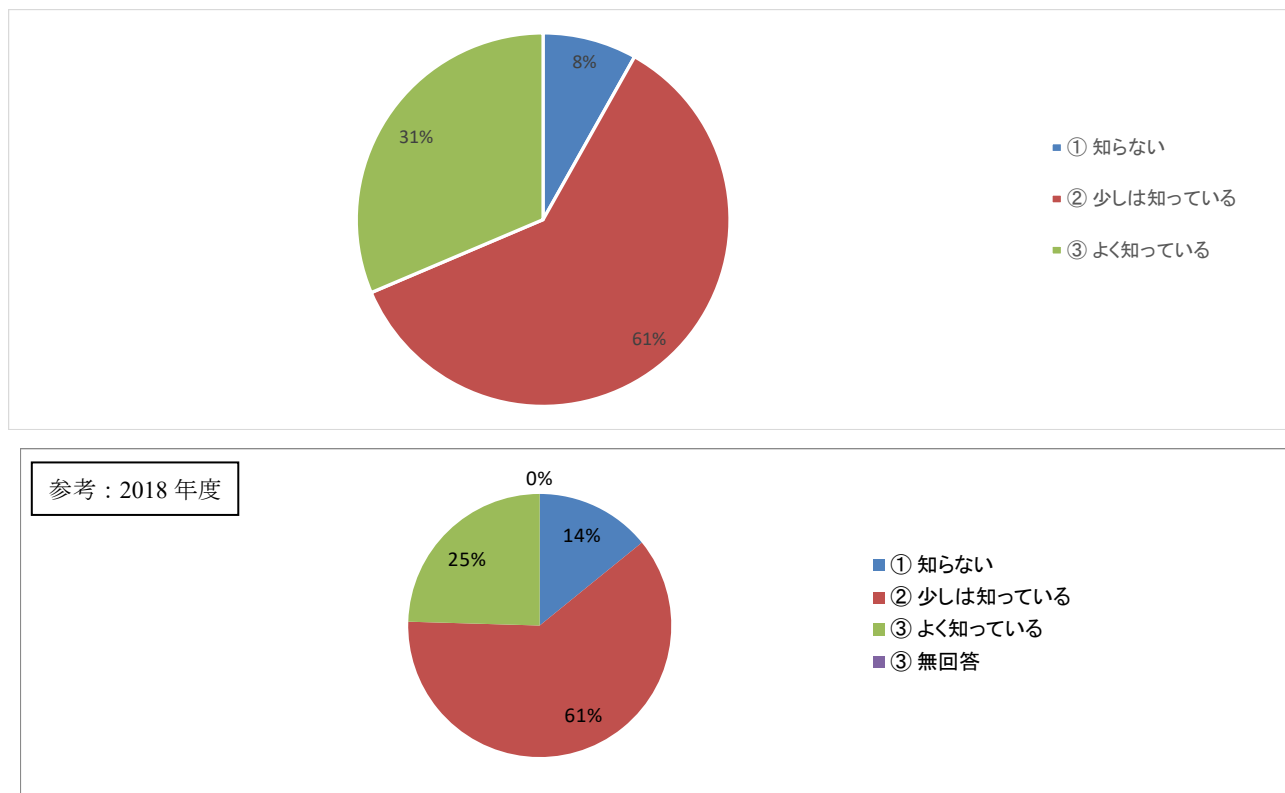


図 12. 問 12 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就活で重要視される能力についてどの程度知っているかを調べるためのものです。92%の方がご存じでした。

実力のある学生が複数の内定（内々定）を得る“総取り”傾向が強まっています。実力のある学生とはどんな姿でしょうか？ 企業から見て、一緒に働きたいと思わせる学生です。学力はないよりあった方がいいでしょう。黙っているよりは、たどたどしくても自分の考えを話す方がいいでしょう。思いついたまま言葉を出すよりは、順序立てて説明できる方がいいでしょう。一人で仕事ができるのはもちろんのこと、他の人と協力できる方がいいでしょう。本学科では学力だけでなく、他の人と協力することや自分の考えを説明するような、コミュニケーション能力を養う科目も用意されています。活用してください。また、コミュニケーション能力は普段の生活からも養うことができます。大学の先生や事務の方だけではなく、友人、先輩・後輩、年の離れた子供や大人、そして家族とのコミュニケーションを通し、社会性も身につけて下さい。

13. 本年度の就職状況について、どの程度意識していますか？

図 13 に問 13 の回答分布を示します。

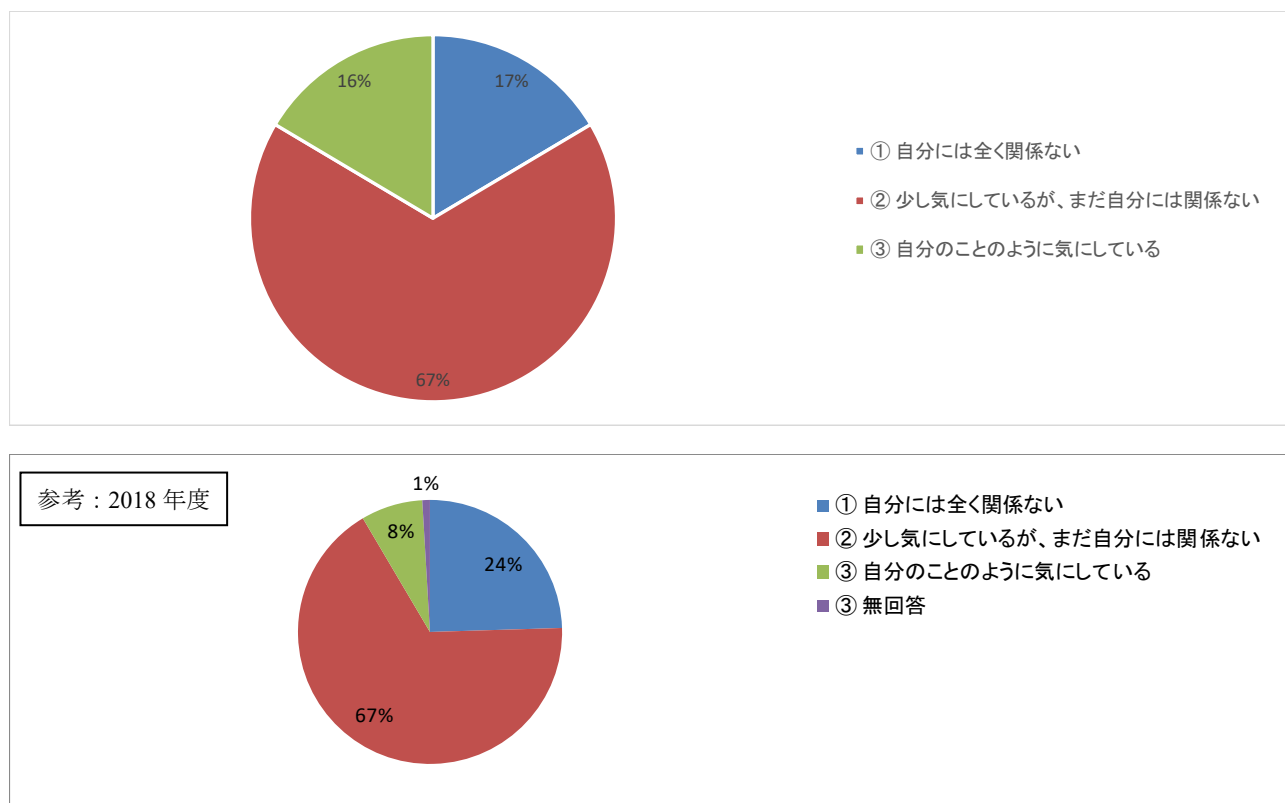


図 13. 問 13 の回答分布の円グラフ

この質問は学生の皆さんが就職状況の厳しさについての意識の程度を調べるためのものです。“①自分には全く関係ない”“②少し気にしているが、まだ自分には関係ない”が 84%ありました。ほとんどの方が「就職はまだ先のこと」という認識です。しかしながら、大学生活は長いようで短く、インターンシップも早期化が進んでおり、のんびりしているとあっという間に就職活動の時期が訪れます。今から意識しておきましょう。

本学には就職活動を応援してくれるキャリアサポートセンターがあります。ここでは、インターンシップの案内もあります。是非活用して下さい。

14. アルバイトをしていますか？ している場合は週何日、1日あたりの平均時間を記入して下さい。(面談時の質問と重なりますが了承下さい)

図 14(a)にアルバイトの有無の回答分布、図 14(b)にアルバイト日数/週別で集計したアルバイト時間を示します。

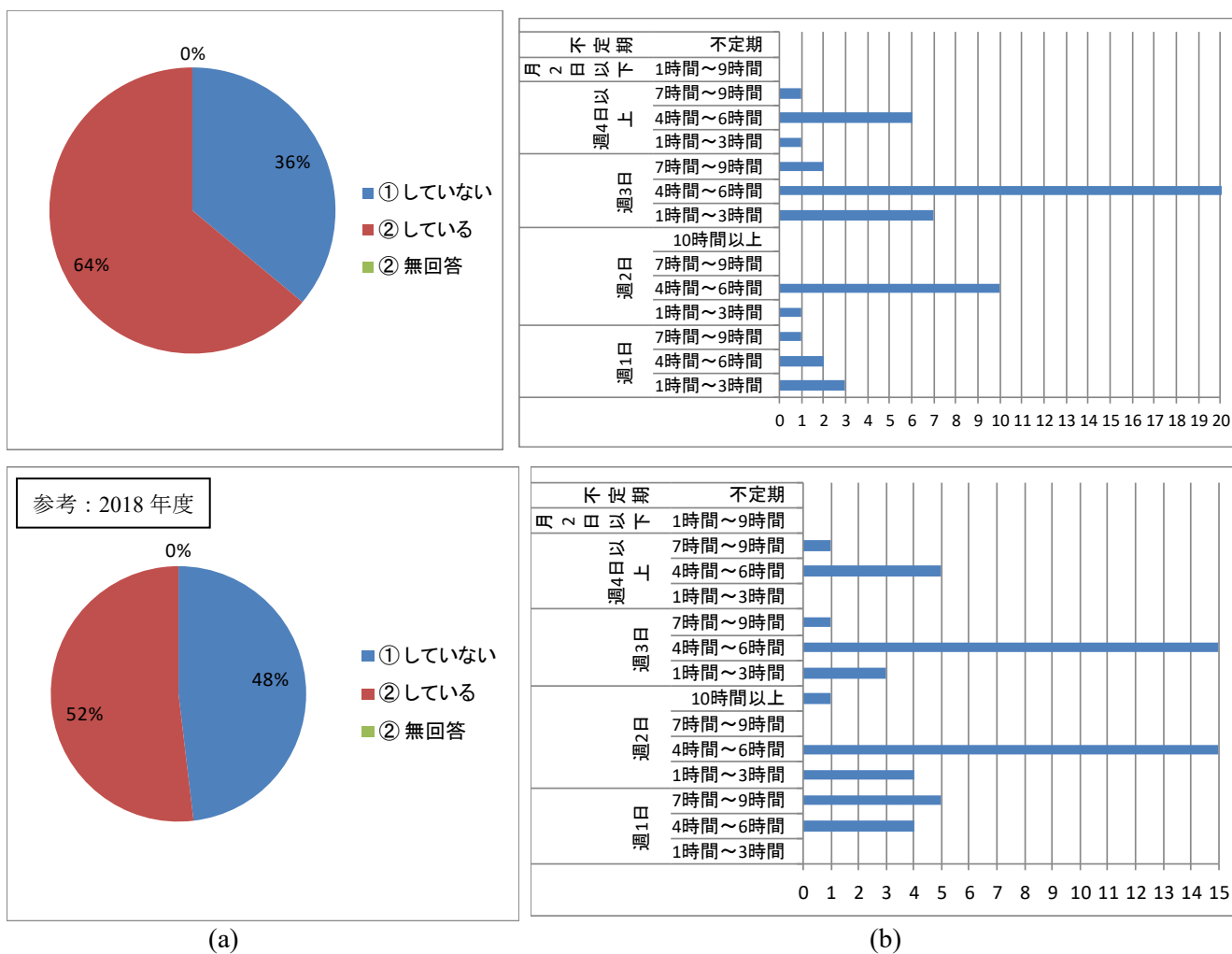


図 14. (a)アルバイトの有無に対する回答分布 および
(b) 週あたりのアルバイト日数別で集計したアルバイト時間分布

この質問は学生の皆さんのアルバイト状況を調べるためのものです。64%の方がアルバイトをしていると回答しました。回数と時間について、週3日で1日あたり4～6時間が最も頻度が多いとなっています。勉強する時間を圧迫しないよう、有意義な大学生活を送っていただければと思います。

15. 大学というところに入學して約4ヶ月経過しましたが、入學前にあなたが大学に対して持っていたイメージと異なることはありますか。もしあれば教えて下さい。

下記に、頂いた意見を原文のまま掲載します。

マイナスイメージ(否定的)	授業がつまらん
	勉強をしないとまずいと感じている
	1年からキツイ。単位はどうか取れると思っていたが全然取れなそう
	授業内容が思った以上に難しい
	意外と勉強に追われている
	個人の責任が多い
	勉強が思った以上につらいです
	大学生活はヒマだと思っていたが意外と忙しい
	全くヒマじゃない。むしろ忙しい
	そこそこ忙しい
	長期休み以外は高校の時よりも忙しかった
	バラ色のキャンパスライフなんてなかった。男しかいない
	現時点で授業レベルが高校と比べ低すぎて拍子抜けしている
	思ったより数学が多い
	計算ばかりで実技みたいなものがないところ。プレゼンや英語での会話など大学にありそうなものがなかったこと
	想像以上に大変
	大学に入った後、技術的なことよりも理論的な内容を取り扱うことが圧倒的に多かった
	レポートで徹夜するとは思っていなかった
	授業数のわりに必要な勉強量が多い
	学びたい授業を取れるとは限らず、抽選になってしまうこと
試験のスパンが短く、なおかつ1年から内容が多く重いこと	
大学は思っていたより不親切だった	
家から大学以外へ外出することが減るのが思ったより早かった	
大学の授業レベルが芝浦の入試偏差値と合わない	
科目によっては先生の教え方がヒドイ	
文系のほうが楽	
グローバルな大学なのに英語の授業が期待外れだった 理由:①単位を取らせるためだけになっている(これは有り難いが)②自身の英語力向上になるとは思えない	
英語に力を入れている大学とは思えないほどの授業レベル	
プラスイメージ(肯定的)	イメージ通りでした
	大学に入學したとたん勉強しない人が増えると考えていたが、皆真面目に勉強していた
	思った以上に丁寧に教えてくれる
	おおむね予想通り。しかし先生と生徒の距離が近くてすごく良いと思う
	自由な時間が多い
	思ったよりも楽しい
	理系は全く余裕がないと考えていたがとても楽しむ時間があり安心した
	レポート漬けの毎日だと思っていたがそうでもなかった
	ずっと専門的なことをやるとかと思っていたが意外と基礎的なこともきちんとやっていたところ
	生徒の授業に対する意識が高く、講義に集中している人が多い点
	1年は思ったより楽であった
	思っていたよりもつらくなかった。入學前はバイトをするのがキツそうだと思っていた
どちらでもない	課題が少ない
	授業で出される課題が思っていたより少なかった
	思ったよりオタクと女子が多い
	高校時代に比べて帰る時間が遅くなったところ
	まだ1年生であるため、あまり高度な専門知識を習得できず、高校の延長線上にあるように感じた
	もっとウエイウエイしていると思っていた
	学生証のタッチで出欠確認が行われている点
	ガチガチに難しいことをやっているのだと思っていた
	大学を甘く見ていました。これから気を引き締めます
	部活とアルバイトを始めたので平日に余裕がなくなった。正直なところアルバイトが思った以上にハードだった。
自分としては勉強で忙しいことがあると思っていたが、しっかり学修していればそんなことはなく余裕をもって生活できた	

16. 最後に、電子工学科に対する要望などがあったら記入ください。

下記に、頂いた意見を原文のまま掲載します。

電気回路3の再履修クラスを前期から後期に移してほしいです。そうなれば仮に電気回路3を不合格になっても、大宮に通学しているうちにもう一度履修でき、留年をしなくて済む可能性が上がると思っています。また、時間を空けずに再履修したほうが学習効果も高いと思います。
電子工作を早くしたい
はんだ付けをしてみたい
もう少し技術を身につける機会がほしいです
早い段階で研究室の内容に触れることのできるプログラムがほしいなと感じます
最先端の学問に対して積極的に触れてほしい(脳科学、VRなど)
もっとソフトウェアの勉強を取り入れてほしい
回路やプログラミングなど実技の授業を増やしてほしい
プログラミングの授業を少しでも入れてほしい。「プログラミング入門」など
他大学の一流大学院への進学の後押し
先生によって試験のレベルが変わるのをやめてほしい
空調について
満足している
今のところないです
これからもよろしく願います

最後に

これらの他、皆さんから多くの意見を頂きました。学科をより良くするために、参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた学生の皆さんに感謝します。

(担当：石川博康 ishkw@sic.shibaura-it.ac.jp、小池義和 koike@sic.shibaura-it.ac.jp)